

平成26年度 第8回応用セラミックス研究所教授会議事要録

日 時 平成26年12月17日(水) 午前10時00分～午前11時40分
場 所 応用セラミックス研究所 1階会議室
出席者 伊藤所長、笠井、細野、原、真島、佐々木、東、川路、河野、若井、山田
平松、谷山、鎌田、笹川、中村、松下、篠原、佐藤、赤津、阿藤の各教員
定足数の確認 現在員23名、公務欠席2名、定足基礎数21名、定足数14名、出席者21名で成立

配布資料

- 平成26年度第7回応用セラミックス研究所教授会議事要録(案)
 1. 客員研究員受入れ調書
 2. 定期監査実施結果【会計経理】(平成25年9月)
 3. 平成26年度学術講演講師
 4. 東京工業大学の研究科長、学系長、学部長及び附置研究所長の選考、解任及び任期に関する規則一部改正新旧対照表
 5. 教育研究評議会の構成について(案)
 6. 研究室所属の事務員・補佐員等について
 7. 「研究費の不正使用防止のための当面の取組方針」における「2. 物品納入等の経理面の改革」への対応
 8. すずかけ台地区ヘリウム回収設備専門委員会内規(案)
 9. 平成26年度第8回応用セラミックス研究所企画運営委員会議事要録(案)
- 10. 平成26年度第9回応セラ研安全衛生委員会・第9回セラ研ブロック安全衛生委員会議事要録(案)
- 11. 第106回応用セラミックス研究所共同利用・研究支援室会議議事要録(案)

席上配布資料

- 1～3. 平成27年度客員研究部門(外国人)教授候補者の履歴・業績一覧
- 4～6. 平成27年度客員研究部門(国内)教授・准教授候補者の履歴・業績一覧
7. 平成27年度準客員研究部門(連携)教授候補者の履歴・業績一覧
8. 国立大学共同利用・共同研究拠点協議会総会報告

議事要録の確認

平成26年度第7回応用セラミックス研究所教授会議事要録(案)を承認した。

議 事

○審議事項

◇議題1～3の客員研究部門等の教員選考について

伊藤所長から、客員研究部門等の教員選考にあたっては、学内規則により、選考委員会から報告を受けた教授会は「原則として投票」によりその可否を決定することとなっているが、応セラ研の慣例により、本会議の審議・承認をもって可否を議決することとしたい旨説明があり、了承を得た。また、教育研究評議会の決定に基づき、平成26年12月5日以降は、新規の教員選考は凍結されることとなった旨報告があった。

1. 平成27年度客員研究部門(外国人)教授候補者の選考について
伊藤所長から、席上配付資料1～3に基づき、平成27年度客員研究部門(外国人)教授候補者3名について説明があり、審議の結果、これを承認した。
2. 平成26年度客員研究部門(国内)教授・准教授候補者の選考について
伊藤所長から、席上配付資料4～6に基づき、平成27年度客員研究部門(国内)教授候補者1名、准教授候補者2名について説明があり、審議の結果、これを承認した。

3. 平成27年度準客員研究部門（連携）教授候補者の選考について

伊藤所長から、席上配付資料7に基づき、平成27年度免震制震構造学客員研究部門の教授候補者1名について説明があり、審議の結果、これを承認した。なお、企画運営委員会では、反応デザイン客員研究部門の教授候補者1名についても審議を行ったが、年齢が65歳以上であることから理事・副学長との協議が必要となるため、平成27年1月の教授会にて審議を行う予定である旨、説明があった。

4. 客員研究員の受入れについて

伊藤所長から、資料1に基づき、準客員研究員1名の受入について説明の後、受入教員の平松准教授から補足説明があり、審議の結果、これを承認した。

5. 平成26年度定期監査（会計経理関係）について

伊藤所長から、平成27年1月7日～9日に実施される平成26年度定期監査（会計経理関係）の監査対象の説明があり、昨年度の監査実施結果（資料2）と同様の指摘を受けることがないよう、注意喚起があった。

○報告事項

1. 学術講演講師について

伊藤所長から、資料3に基づき、学術講演講師10名について報告があった。

○諸会議報告

伊藤所長から、諸会議報告については所内のホームページに掲載しており、事前に確認していると思うので、質問があればこの場で受ける旨の発言があり、以下について報告があった。

1. 教育研究評議会（12/5）

1) 東京工業大学の研究科長、学系長、学部長及び附置研究所長の選考、解任及び任期に関する規則の一部改正について

・資料4に基づき、本改正は、大学のガバナンス改革による学長のリーダーシップ強化に基づき、部局長の選考、解任等に関する規則を改正するものである旨説明があり、これに関連して、岡田理事・副学長から、部局の意見聴取の方法について問われており、企画運営委員会では、「所長を除く教授から聴取する」、「教授会に出席していただく」という2つの意見が出されたが、これ以外に意見があれば伺う旨の発言があり、様々な意見が出された結果、今回出された意見等を参考に、笠井副所長や各教授と相談した上で決定するという事で、所長に一任することとした。

2) 教育研究に関する諸問題について

・資料5に基づき、平成28年4月1日から実施予定の教育研究評議会の構成（案）について説明があり、これに対し、様々な意見交換が行われた。

2. 部局長等会議（12/5）

1) 研究室所属の事務員・補佐員等について

・資料6は、大学で発生した研究費の不正使用の再発防止対策として、研究室の補佐員が会計処理を行うことが問題とされ、研究室の補佐員とは別に会計を専門とする補佐員等を大学で雇用する場合の財源のシミュレーションをしたものである旨説明があり、これに対し、様々な意見交換が行われた。

2) 「研究費の不正使用防止のための当面の取組方針」における「2. 物品納入等の経理面の改革」への対応について

・資料7に基づき、特に重要な項目として、1万円以上の物品にはシールでマーキングを行う。100万円未満で認めている教員の発注権限を50万円に引き下げる。10万円未満でも換金性が高いパソコンについては、少額備品と同様の管理とする。等の説明があり、様々な意見交換が行われた。また、これらに関する説明会が平成26年12月25日（木）と平成27年1月29日（木）に開催されるので、

是非出席していただきたいとの発言があった。なお、両日ともに木曜日の開催のため、ビデオで撮影し、後日、大学のHPに掲載する予定である旨、補足説明があった。

3. 5部局長懇談会（12/5）

1) すずかけ台地区ヘリウム回収設備の運営体制について

・資料8に基づき、すずかけ台地区ヘリウム回収設備専門委員会委員の選出依頼があったので、川路教授と谷山准教授に依頼したい旨の説明があり、これを承認した。

2) すずかけ台外周道路整備に伴う駐車場削減への対応について

・駐車場削減に伴い、入構許可の条件が厳しくなる旨、説明があった。

4. 国立大学共同利用・共同研究拠点協議会総会（12/5）

笠井教授から、席上配付資料8に基づき、国立大学共同利用・共同研究拠点協議会総会の報告として、国立大学における共同利用・共同研究拠点の評価・認定スケジュールの説明及び、期末評価・次期認定に関する意見・要望に関するアンケートの集計結果について、重要事項の概要説明があり、これに対し様々な意見交換が行われた。また、伊藤所長から、文部科学省の方針等について補足説明があった。

5. 5研究所長懇談会（12/5）

※特に報告事項なし。

6. 企画運営委員会（12/5）

伊藤所長から、資料9に基づき、以下の事項について説明報告があった。

1) 平成26年度業務監査・監事監査について

7. 応用セラミックス研究所安全衛生委員会・応用セラミックス研究所ブロック安全衛生委員会（12/10）

伊藤所長から、資料10に基づき、以下の事項について説明報告があった。

1) 産業医による職場巡視結果について

・指摘事項に対する対策（改善）報告については、写真を添付し、文言は「改善しました」等、過去形とするよう説明があった。

8. 共同利用・研究支援室会議（12/3）

伊藤所長から、資料11に基づき、以下の事項について説明報告があった。

1) 平成27年度共同利用研究募集要項について（12月5日発送）

2) R3棟1階ロビーのディスプレイについて

・11月に実施した防災訓練の動画を追加した。また、次回開催される材料構造講演会についても動画を撮影し追加する予定。

3) 応セラ研HPについて

4) 平成27年度非常勤職員の募集について

5) 平成26年度共同利用予算の執行について

6) 共通機器担当者会議について

7) 立教女学院受け入れ報告について（12/5）

8) 講演会の参加人数の増強について

以 上

